

## 埼玉県地域保健医療計画第6次圏域別取組実績報告について

- 1 生活習慣病予防からはじめる健康づくり(糖尿病対策含む)
- 2 小児救急医療及び周産期医療
- 3 精神保健医療福祉対策
- 4 歯科保健対策
- 5 健康危機管理体制の整備充実

埼玉県地域保健医療計画第6次圏域別取組実績報告調書(その1)

重点取組	生活習慣病予防からはじめる健康づくり(糖尿病対策含む)
目標	生活習慣病の予防と早期発見のため、特定健診・各種がん検診等の受診率の向上を図り、圏域住民への効果的な保健指導を目指します。なかでも、県に比べて標準化死亡比が高く、重篤な合併症を引き起こす糖尿病への対策を推進します。また、個人の健康意識を高めるとともに、健康づくりに取り組みやすい環境整備を進めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進</li> <li>健康づくりに取り組みやすい環境整備</li> <li>地域・職域保健の連携推進</li> <li>糖尿病対策の推進</li> </ul>
実施主体	保険者、市町、保健所、医師会、歯科医師会、医療機関、事業所、商工会、各種健康づくり関係団体

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の事業評価から引き続き、実施率の向上と生活習慣病重症化予防対策事業と合わせて、地域住民の健康づくりを推進。</li> <li>年1回、各市担当者と特定健診と生活習慣病重症化予防対策事業の実施状況等の報告会を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の連続受診者の医療費が抑えられている結果から、引き続き実施率の向上対策が必要。</li> <li>生活習慣病重症化予防対策事業の協力医療機関を増やして、事業の推進をする。</li> </ul>
	東入間医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士見市、ふじみ野市及び三芳町の首長と医師会役員との地域医療連携会議(H29.11.7)を開催し、特定健診・各種がん検診の受診率などの情報を共有しながら、受診率の向上促進に取り組んだ。平成30年度から胃内視鏡検診の実施に向けた会議をH29年度に6回開催し、H30年6月から実施することとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町の特定健診の受診率は、常に上位を占めているが、更なる受診率の向上対策。</li> <li>特定健診にかかる診療情報提供事業の件数の更なる向上のための患者への広報と理解。</li> </ul>
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査 7,118人(受診率42.5%)</li> <li>特定保健指導 積極的支援21人 動機付け支援111人(指導率 18.0%)</li> <li>成人健康診査(生活保護受給者) 受診者272人 保健指導3人</li> <li>成人健康診査(30代ヘルスチェック) 受診者375人 保健指導2人</li> <li>30代のヘルシーセミナー 345人</li> <li>生活習慣病予防教室:へるすアップチャレンジ 4回延べ137人</li> <li>各種がん検診 (受診者数 受診率)</li> <li>胃がん検診 6,042人 6.4%</li> <li>肺がん検診 10,742人 11.3%</li> <li>大腸がん検診 10,578人 11.2%</li> <li>子宮がん検診 4,347人 7.9%</li> <li>乳がん検診 4,696人 1.0%</li> <li>前立腺がん検診 3,860人 20.1%</li> <li>乳がん自己検診普及啓発</li> <li>乳がんグローブ配付 3,241枚</li> <li>肝炎ウイルス検診 187人</li> <li>がんリスクチェック</li> <li>各種健康相談</li> <li>たばこ対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種健康診査</li> <li>受診率の向上を図るため、受診推奨の実施。周知方法等の検討</li> <li>各種保健指導</li> <li>実施率の向上、指導成果を上げるための内容や手法の検討、指導後の評価の実施</li> <li>各種健康教育</li> <li>対象者に興味をもってもらえる企画・立案</li> <li>市民と協働した事業の企画・立案</li> <li>働く世代の参加を促す取組について検討</li> <li>教室等の保険事業への参加のみでなく、自主的に取り組める体制づくり</li> <li>各種がん検診</li> <li>受診しやすい県境(体制)づくり</li> <li>要精密検査判定者への受診勧奨</li> <li>受診率の向上</li> <li>たばこ対策</li> <li>喫煙率を指標として評価を実施。</li> <li>受動喫煙に関する除法提供、知識の普及啓発</li> </ul>

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	志木市	<p>○骨量測定・骨粗しょう症予防教室 母子保健推進員や市民を対象に、骨粗しょう症予防啓発事業として、骨量測定と教室を実施。(2回 49人)</p> <p>○特定健康診査(受診率40.6%) ○特定保健指導(業務委託) 実施率:11.7%</p> <p>積極的支援終了者126人中11人 動機付け支援終了者430人中54人</p> <p>○各種がん検診実施 30歳以上の市民(子宮頸がんは20歳以上、前立腺がんは55歳以上)を対象に、各種がん検診(個別・集団)を実施した。 ・胃がん(内視鏡) 受診者数1,106人 ・胃がん(X線) 受診者数1,484人 ・乳がん 受診者数2,676人 ・肺がん 受診者数4,934人 ・大腸がん 受診者数5,213人 ・子宮頸がん 受診者数1,214人 ・前立腺がん 受診者数1,908人</p> <p>○肝炎ウイルス検診実施 40歳以上の市民を対象に、肝炎ウイルス検診(個別・集団)を実施した。受診者数98人</p> <p>○胃がんリスク検診 胃がん検診受診率の向上を目指し、一定年齢層(40歳から60歳までの5歳刻み)に対し、「胃がんリスク検診」(ABC検診)を実施した。受診者数770人</p> <p>○健康長寿埼玉プロジェクト(とことんモデル)実施 ・いろは健康ポイント事業(2,330人) 40歳以上の市民対象。歩数計を貸与し、市内27か所の端末にかざす。歩数や健康状態が変化することでポイント付与 ・健康になりまっする教室(283人) 40歳以上の市民対象。週1回8か月間有酸素運動、筋力アップトレーニング、食事コントロールの三位一体の事業を実施(1コース約28人10コース実施)</p> <p>○おいしく減塩!「減らソルト」プロジェクト 循環器系疾患の減少と健康寿命の延伸を目的に、すべての年代において「減塩」に関する事業を実施。健康寿命のさらなる延伸をめざし、すべての年代において「減塩」をキーワードにした健康づくり事業を展開。 ・公立保育園、市内小中学校において減塩給食実施 ・市内公共施設5カ所に自動血圧計を設置 ・志木市国民健康保険特定健康診査(集団)において推定摂取食塩量検査の実施 ・おいしく減塩! 減らソルトフェスタの開催(平成29年11月23日:来場者数904人)</p> <p>○いろは健康21プラン(第4期)及び志木市食育推進計画(第2期)、志木市歯と口腔の健康プラン(第2期)策定に向け、志木市健康づくり市民推進協議会を開催した。(5回) 健康づくり市民推進協議会では、次期計画を策定するうえで重要となる市民健康意識調査の調査票(案)を検討し、平成29年11月に市民健康意識調査を実施した。</p> <p>○国保運動教室実施(8か月間・計24日) 平成28年度の特定健康診査受診者で拡張期血圧85mmHg以上、中性脂肪150mg/dl以上、HbA1c5.6%以上の2つ以上にあてはまるハイリスク者と、前年度の運動教室参加者で、継続的なサポートがより有効であると考えられる人を対象に実施。参加者29人。</p>	<p>○教室への参加希望が多く、特に高齢者の参加者が多い。一次予防の観点から、50~60歳代の参加啓発が必要。 ○地域内において受診できる医療機関も限られていることから、例年40%前後の受診率で推移している。 ○特定保健指導実施率は近年10%前後で推移しており、特に若年層の実施率が低い状況にある。対象者が特定保健指導を受けようと思う体制づくりを進めていく必要がある。 ○依然として国の定める受診率目標に達していないため、受診勧奨方法や、公共施設などを会場とした集団検診の回数の増加なども改めて検討する必要がある。</p> <p>○平成29年度で県の補助金が終了するため、今後の事業継続について、事業内容の精査とあわせて、財源確保策を講じる必要がある</p> <p>○該当者は多いが、申込者が少ない。</p>
	和光市	<p>【保健】 ○集団健診結果説明会を実施した。 ○小グループによる生活習慣病予防指導を行い、希望者には同日に個別健康相談をおこない、保健指導を実施した。 ○特定保健指導の勧奨及び希望者は当日に特定保健指導を実施した。 ○集団健診結果説明会の未来所者で、健康保険医療課窓口の結果を取りに来た人に、個別相談を実施。 ○過去3年間について、集団健診受診結果をグラフ化して健診結果裏面に掲載。特定保健指導対象者等にグラフ化した内容に加え、性別等状態に合わせた情報提供用紙を同封して配布した。 ○集団健診において、認知症検診(タブレットによる浦上式物忘れスクリーニング検査、医師による診察)を実施し、22人が受診。</p>	<p>【保健】 ○健診受診率・特定保健指導終了率は上昇傾向にあるが、国の示す目標値に比べ低い状態にある。特に、健診受診結果を理解し、疾病の予防及び健康づくりにより主体的に取り組む意識を高めるために、健診結果の推移がわかるグラフの作成などに取り組んだが、受診勧奨方法、保健指導内容の検討が必要。</p>

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会の開催(年2回)</li> <li>○第2次計画「第2次いきいき新座21プラン」(第2次新座市健康づくり行動計画・新座市食育推進計画・新座市歯科口腔保健推進計画)の推進(平成27年3月～平成37年3月)</li> <li>○いきいき新座21講演会の開催 1回 51人</li> <li>○保健センター通信「えがお」の発行 年3回</li> <li>○健康手帳の交付 配布数 112冊</li> <li>○一日健康教室 7回 延べ168人</li> <li>○ニコ筋半日教室 5回 延べ101人</li> <li>○すこやか広場健康相談 36回 延べ245人</li> <li>○すこやか広場栄養相談 36回 延べ202人</li> <li>○訪問指導 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2次いきいき新座21プランの推進を計画的に進めていく。</li> <li>○働き盛り世代が参加しやすい内容でいきいき新座21講演会を企画する。</li> <li>○健康相談・健康教室に関しては、高齢者の参加が増えており、健康増進法の対象である働き世代の参加が増加するような工夫が必要である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査 40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者を対象に実施 法定報告受診者数 9,784人 法定報告受診率 38.2% (本市の特定健康診査等実施計画目標値:60%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査 受診率は28年度から上昇したものの、目標値に届かない状況である。また、埼玉県内市町村平均39.6%を下回っている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定保健指導 特定健診受診者のうち、積極的支援と動機付け支援に該当になった者に対し、特定保健指導を実施した。 積極的支援終了者28名、終了率7.9% 動機付け支援終了者235名、終了率26.4% 合計21.2% (本市の特定健康診査等実施計画目標値:60%) ※積極的支援は業者委託、動機付け支援は国保年金課直営で実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定保健指導 ・積極的支援の終了率が低い。 ・40代、50代の利用率が低い。 ・リピーターへの支援内容のマンネリ化。</li> </ul>
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査</li> <li>○特定保健指導 ・終了者数225人(25.6%)</li> <li>○特定保健指導未利用者対策 ・モデル地区への訪問 ・電話による勧奨</li> <li>○ヘルスチェック</li> <li>○各種がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん)</li> <li>○健康診査</li> <li>○健康教育 ・生活習慣病予防教室 ・ヘルスセミナー ・歯周病予防講座 ・運動講座 ・健康づくり講座 ・栄養講座</li> <li>○健康相談 ・健康相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定保健指導や各種健康教室における40～50歳代の参加者が少ない。</li> <li>○健康教育は、その内容に応じて、単発での実施、他の講座と併せて実施するなど、市民が参加しやすい体制の検討が必要。</li> </ul>
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康診査・各種がん検診事業 ・生活保護受給者の健康診査及び各種がん検診を、6～11月医師会に委託し実施 ・要精密対象者に対する電話フォロー実施</li> <li>○健康教育 ・がん予防講座(9/24実施。26人参加) ・歯と口の健康づくり講演会(10/19実施。47人参加) ・健康生活セミナー(1/19,2/1,5,13,23実施。実30人、延121人参加)</li> <li>○健康相談 ・総合健康相談:43回503人 ・重点健康相談:62回272人</li> <li>○訪問 ・特定健診受診者で特定保健指導対象者以外に対して実施(138人)</li> <li>○特定健康診査・特定保健指導の実施 ・健診受診者7,837人(受診率48.0%) ・特定保健指導311人(保健指導終了率33.6%)</li> <li>○未受診者対策 ・受診勧奨ハガキ通知(13,845人) ・継続受診勧奨通知(1,130人) ・4月1日国保加入者への電話勧奨(265人) ・診療情報提供事業(対象者:2,626人、提供数:143件)</li> <li>○腎機能に焦点を当てた重症化予防 ・市民講座(7/31実施,32人) ・腎専門医による市民個別相談会(2/27実施,7人) ・電話・訪問(124人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪問、保健指導等実施するが、60代後半・70代の方も仕事等で留守が多く会えないこともある。</li> </ul>

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	三芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん)</li> <li>○健康教育:骨粗しょう症健康教育</li> <li>○健康相談:大人の健康相談(年12回)</li> <li>○特定健康診査…東入間医師会との契約によりふじみ野市・富士見市・三芳町の特定健康診査実施医療機関にて健康診査を実施。</li> <li>受診者数2,878人</li> <li>○特定保健指導</li> <li>対象者362人参加者46人(実施率12.7%)</li> <li>○生活習慣病重症化予防対策事業</li> <li>未受診者の受診勧奨 54名</li> <li>受診中断者の受診勧奨 2名</li> <li>糖尿病罹患者の保健指導 4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん検診の受診率の向上</li> <li>○精密検査受診率の向上</li> <li>○特定健康診査…受診率が伸びない</li> <li>○特定保健指導…実施率の低下</li> <li>○生活習慣病重症化予防対策事業…募集時期が短期間であることと、医療機関が協力的でなく、保健指導対象者の選定に困難</li> </ul>
	朝霞保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診受診率向上を目的とした4市(朝霞市、志木市、和光市、新座市)合同キャンペーンに参画(5月21日:志木市)</li> <li>○各市町国保及び保健センター職員、企業健康保険組合・健康管理室、地域活動栄養士等を対象に保健指導のスキルアップを目的に研修会を開催(12月12日 85人、3月1日 39人)</li> <li>○管内栄養士研修会の開催(9月11日 30人)</li> <li>○健康長寿サポーターの育成(4回 48人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働きざかり世代に向けたアプローチ</li> <li>○管内市町の健康課題に合わせた生活習慣病予防対策の検討が必要</li> </ul>
・健康づくりに取り組みやすい環境整備	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○和光市民まつりに参加し、マスクやインフルエンザのリーフレットを配布し啓発活動を実施</li> <li>○各市の健康まつりの健康相談コーナーに医師を派遣</li> <li>○朝霞地区四市特定健診受診率向上キャンペーンの後援</li> </ul>	
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会</li> <li>○あさか健康プラン21推進事業の実施</li> <li>・講演会「筋力アップで健康寿命をのばそう」 参加人数 138人</li> <li>・広報「へるす☆アップ」の発行 4回/年</li> <li>・健康づくりガイドブックの発行 1回/年</li> <li>○あさか健康プラン21(第2次)</li> <li>・健康あさか普及員 324名</li> <li>・健康あさか普及員意見交換会の実施 7回延177人</li> <li>○健康手帳・健康ファイルの交付 511冊</li> <li>○総合健康診査の実施(国保対象者の特定健康診査+がん検診の同日実施)</li> <li>○節目健診の実施(骨粗しょう症検診+成人歯科健診の同日実施)</li> <li>○健診をうける機会が少ない年代の女性を対象とした健診の実施(30代のヘルスチェック+子宮頸がん検診+乳がん検診の同日実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会</li> <li>市民の健康づくりの推進及び普及啓発を図るため、関係機関との連携を図る。</li> <li>○あさか健康プラン21(第2次)</li> <li>・国の健康日本21(第2次)と、県の健康埼玉21と整合を図り策定。目標達成に向けた事業展開及び進捗管理を行う。</li> <li>○健康手帳・健康ファイルの交付</li> <li>・有効に活用してもらえるような交付の仕方の工夫が必要。事業等での活用。</li> <li>○各種健康診査</li> <li>・受診率の向上を図るため、企画の工夫及び周知方法等の検討。</li> </ul>
	志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会の実施</li> <li>平成27年度から公募で選ばれた「志木市いろは健康21プラン推進事業実行委員会」主催で実施。第3回目となる平成29年度は5月21日に開催。参加者1,054人</li> <li>○スマート・ウォーク・リーダー育成講座の実施</li> <li>健康に対する意識や知識の向上を目的に、健康に関する事業やノルディックウォーキング・ポールウォーキングの普及などに取り組んでいただくスマート・ウォーク・リーダーを育成する講座。(平成29年11月22日～平成30年2月28日 全16回)</li> <li>受講者52人</li> <li>○健康まつりの実施(参加者約 1,000人)</li> <li>・生活習慣病予防と「自分の健康は自分で守る」という意識啓発を図るためのイベントを10月に実施。</li> <li>○健康教育(年41回 延1,997人)</li> <li>・健康づくりに関する正しい知識の普及を図るため、健康増進事業及び食育推進事業を実施。</li> <li>○健康相談(延621人)</li> <li>・健康上の悩みや不安に応じ、電話や面接により必要な保健指導を実施。</li> <li>○訪問指導(延2人)</li> <li>・訪問による生活習慣改善指導を実施。</li> <li>○食生活改善推進員養成講座の開催</li> <li>・隔年の開催。1コース7回 延113人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実行委員会の組織強化を行い、市のサポートを減らした自立した運営を目指す</li> <li>○協賛社・者の拡大</li> <li>○参加者の拡大</li> <li>○受講後、志木市いろは健康21プラン推進事業実行委員会など、地域の健康づくりリーダーとして活躍する人の増大</li> <li>○健康まつりの実施</li> <li>・各種団体、関係機関、行政等が連携し、楽しみながら健康づくりができる普及啓発の場として定着している。</li> <li>○健康教育</li> <li>・各講座とも60歳代後半から70歳代の参加が多いが、健康ポイント事業参加者が当事業も参加。</li> <li>○健康相談</li> <li>・特定健診の事後指導を担当課と連携の仕方の検討。</li> <li>○訪問指導</li> <li>・必要な人への適切な訪問指導</li> <li>・訪問対象者を含めた家族の健康課題解決への視点が求められている。</li> <li>○食生活改善推進員養成講座の開催</li> <li>・継続して推進員を養成していく必要性あり。</li> </ul>
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【保健】</li> <li>○個別健診と集団健診、国保集団健診、女性特有のがん検診を実施。個別・集団ともに、和光市国保加入者以外の和光市民もがん検診が受けられる。</li> <li>○集団健診の実施日数を18日、特定健診対象者だけを対象とし、特定・肺・大腸がん検診をセットにして行う国保集団健診を8日間実施。</li> <li>○ヘルスサポーターの養成(全5日間の講座。2コース37名)。</li> <li>○健康教育(運動中心の教室(39人))の実施</li> </ul>	

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・健康づくり に取り組みや すい環境整備	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診</li> <li>・30歳以上の市民を対象に、各種がん検診を無料で実施した。(子宮がんは20歳以上、前立腺がんは55歳以上を対象。)</li> <li>個別検診及び集団検診を実施。</li> <li>(1) 胃がん検診(X線検査受診者数:4509人、内視鏡検査受診者:4285人)</li> <li>(2) 肺がん検診(受診者数:15106人)</li> <li>(3) 大腸がん検診(受診者数:14753人)</li> <li>(4) 乳がん検診(受診者数:6250人)</li> <li>(5) 子宮がん検診(受診者数:6069人)</li> <li>(6) 前立腺がん検診(受診者数:5102人)</li> <li>検診結果が要精密検査であった者のうち、2次検査が未受診であると思われる者に対し、個別勧奨通知を送付し、2次検査の受診を促した。</li> <li>○肝炎ウイルス検診(78人)</li> <li>○骨粗しょう症検診(325人)</li> <li>○30代のからだチェック(538人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん検診をすべて無料化で行っていても中々受診率が50%に到達しない。</li> <li>○職域でおこなっているがん検診を把握できない。</li> </ul>
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヘルスマイト養成講座の実施(7名養成)</li> <li>○食生活改善推進員活動支援</li> <li>○健康長寿サポーター養成講座の実施</li> <li>○集団健診等の機会に健康づくりについての講座等を実施</li> <li>○富士見市健康づくり審議会の開催(2回)</li> <li>○食育推進事業の実施(講演会・料理教室等)</li> <li>○埼玉県コバトン健康マイレージ事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活改善推進員</li> <li>・会員数の維持・増加</li> <li>○埼玉県コバトン健康マイレージ事業を通じて、健康づくり事業参加者を増やす方法の検討</li> </ul>
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筋力アップトレーニング事業の実施</li> <li>○元気・健康マイレージ事業の実施</li> <li>○元気・健康メニューの認定事業の実施</li> <li>○母子愛育会の活動支援</li> <li>○食生活改善推進員の活動支援</li> <li>○保健推進員の活動支援</li> <li>○自主グループの活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筋力アップトレーニング事業については、平成29年度をもって終了となっているため、今後は、「元気・健康マイレージ事業」において、継続的な環境整備を推進する。</li> <li>○元気・健康マイレージ事業参加者を対象とした「健康セミナー」等を開催した。大変好評であったため、会場の規模等の問題もあり、参加できない方も多くでしまった。次年度に向けては、開催回数や規模なども考慮しての実施を検討する必要がある。</li> <li>○保健推進員数は、年々増えて色々な地域から健康教育の依頼を受けているが、保健推進員の活動には地域差がある。また、高齢化や民生委員や他の役員との兼務をしている人も多く、保健推進員の活動に十分に注力できない現状もある。</li> <li>○自主グループの活動支援として、会場の貸し出しやグループに対しての健康教育、体力測定などを行っている。しかし、ウオーキンググループ以外は定員満員になっているグループが多く、新規参加者を受け入れが困難になってきている。</li> </ul>
	三芳町	○人間ドックの補助の周知	
	朝霞保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町における健康づくり会議等への参画</li> <li>○受動喫煙防止対策講演(6月28日 25人、12月13日 13人、1月29日 33人)</li> <li>○禁煙認証制度の推進(認証施設数:528)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全面禁煙認証制度について、飲食店等への広がりが困難</li> <li>○職域での環境整備</li> </ul>
・地域・職域 保健の連携推 進	朝霞地区 医師会・ 地域包括 ケア支援 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝霞地区における地域包括ケアシステムの構築の為の地域包括ケア支援室の運営</li> <li>○各市における多職種連携の為の勉強会を実施</li> <li>○産業医相談会を実施し、労働者の健康相談、長時間労働の相談指導を行なっている。</li> <li>○医療介護連携のためのICTツール(MCS)の普及促進を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケア支援室を開設して、4年目になるが相談件数及び療養支援ベットの利用率は、徐々に増加している</li> <li>○産業医の依頼が増加しているが対応できる医師数が少ない</li> <li>○「長時間労働面接」「健康診断の結果に対する医師の意見聴取」が増加しており、協力産業医の増加が必要</li> </ul>
	東入間 医師会	○地域の企業の従業員の健康管理などを行う産業医の知識等の向上のため、産業医講習会を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働き方改革の推進や時間外労働への世論の厳しさを背景としたニーズの増大があり、学校医や在宅医療など負担が増大する医師の確保策。</li> <li>○産業医の職務の範囲が増大、責任が重くなる中で報酬額の増や保険の付保など産業医の執務条件の見直し。</li> </ul>
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会</li> <li>○健康まつりの実施 620人</li> <li>○健康づくり関連の自主グループ支援</li> <li>○お届け講座の実施 17回461人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会</li> <li>・市民の健康づくりの推進及び普及啓発を図るため、関係機関との連携を図る。</li> <li>○おとどけ講座</li> <li>・健康情報発信の周知</li> </ul>
	志木市	○JA、商工会での健診の受診者からの健診結果の提供	
	志木市 (食生活 改善推進 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヘルスマイトクッキング(5回121人)</li> <li>・おやこの食育教室、生活習慣病予防のための食生活改善支援事業、米を使った料理教室を開催。</li> <li>○ヘルシーレシピ事業(20メニューの作成)</li> <li>・「地元の野菜を食べよう!事業」の一環として、地産地消の推進と、市民の野菜摂取量の増加を目的に、地元の農産物を使用したレシピを考案し、しきの土曜日等で市民に配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヘルスマイトクッキング</li> <li>・おやこの食育教室参加者が比較的少ない。学校でのチラシ配布で、参加者が増えたため、周知方法を工夫していきたい。</li> <li>○ヘルシーレシピ事業</li> <li>・しきの土曜日、アグリシップ志木で販売する農産物のレシピを置くことで、手に取る人が増えている。今後もレシピの数を増やし野菜摂取量を増やすきっかけづくりをしていきたい。</li> </ul>

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・ 地域・職域 保健の連携推進	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活における生活習慣病予防としての市内の公民館等での料理講習会 14回 281人</li> <li>○健康まつりにおいて、生活習慣病予防と野菜を使った健康料理の試食とレシピの紹介</li> </ul>	○会員の高齢化
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域健康相談</li> <li>・町会・地区社会福祉協議会等と協働で実施</li> <li>○健康まつり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各町会や地区社会福祉協議会が地域の健康課題に気づき、取り組めるような働きかけが必要</li> <li>○現役世代への健康づくりへの普及啓発方法の検討</li> </ul>
	富士見市 (食生活改善推進員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり料理講習会(年60回)</li> <li>○健康まつりでの試食配付・知識の普及</li> <li>○富士見市健康づくり審議会</li> </ul>	○健康づくり料理講習会 参加者の固定化。若い世代の参加者を増やす
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元気・健康づくり推進市民会議の開催(8/3,2/1)</li> <li>○元気・健康フェアの開催(5/28開催。延べ1,045人参加)</li> <li>○保健指導推進事業</li> <li>・腎内科専門医師による病態別学習会実施(7/5,11/22,3/14開催のべ41人参加)</li> </ul>	○市民が興味をもてるテーマを設けるなど、内容に変化をもたせ、歯科口腔保健の普及啓発につながるようなフェアを開催する必要がある。
	三芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○セミナー・講座等：健康教育事業(運動)参加延べ人数：3,026人</li> <li>○健康教育事業(食育)参加延べ人数：19人、個別相談参加延べ人数：58人</li> <li>○活動量計貸与者数：1,789人</li> <li>○歩数計貸与者数(カラダステーション)313人</li> <li>○ウォーキング推進：看板設置3箇所(中央公民館、藤久保公民館、竹間沢公民館)</li> <li>○ウォーキングマップの作成</li> <li>○SMILE弁当喫食者数：1,014人</li> <li>○健康づくり推進会議の開催</li> </ul>	
	朝霞保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管内市町特定健診・特定保健指導担当課等へヒアリング調査を実施、状況やニーズの把握(6月)</li> <li>○特定健診・特定保健指導事業等が円滑かつ効果的に実施できることを目的とした健康課題対策会議の開催(1月29日 5人)</li> <li>○地域保健と職域保健における健康増進の取り組み推進を目的とした研修会を西部地域保健所合同で開催(12月12日 85人)</li> <li>○管内事業所(企業内診療所、給食委託会社等)と連携した社員対象の栄養相談の実施(10月～11月 2日間)</li> <li>○給食施設研修会の開催(6月13日 166人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職域との連携が困難</li> <li>○企業健康保険組合・健康管理室の参加が少ない。</li> </ul>
・ 糖尿病対策 の推進	朝霞地区 医師会 (糖尿病 勉強会 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月、糖尿病勉強会を開催し、参加者を増加していくように推進している。</li> <li>○メディカルスタッフの研修会の参加促進</li> <li>○生活習慣病重症化予防対策事業(糖尿病性腎症重症化予防プログラム)の実施</li> </ul>	
	東入間 医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○首長との地域医療連携会議で、糖尿病重症化予防事業の実施状況について情報の共有化を図った。</li> <li>〈受診勧奨〉富士見市167人、ふじみ野市78人三芳町34人。</li> <li>〈生活指導参加者数〉富士見市17人、ふじみ野市21人、三芳町4人。</li> </ul>	○効果の検証をどのようにしていくのか、個人情報の漏洩の防止対策の更なる検討。
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種健診で、必要時保健指導を実施</li> <li>・特定健康診査、保健指導</li> <li>○各種健康相談</li> <li>○あさか健康プラン21による健康づくりの知識の普及啓発</li> <li>○生活習慣病重症化予防対策事業の実施(糖尿病性腎症の重症化予防)</li> <li>・対象：国保被保険者</li> <li>・内容：糖尿病性腎症患者に対する保健指導</li> <li>・期間：4か月または6か月間</li> <li>・実施者数：33人(うち終了者28人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種健診</li> <li>・受診率の向上及び受診者数の増加</li> <li>・保健指導参加者の増加</li> <li>○各種健康相談</li> <li>・実施内容の工夫、周知の工夫</li> <li>○あさか健康プラン21(第2次)による健康づくり</li> <li>・健康あさか普及員と協働した健康づくりの実施</li> </ul>



主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
糖尿病対策の推進	志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防対策事業(糖尿病性腎症重症化予防対策事業):埼玉県モデル事業実施</li> <li>・未受診者への受診勧奨事業43人実施</li> <li>・受診中断者への受診勧奨事業11人実施</li> <li>・生活指導12人実施</li> </ul>	○対象者はかなり多いが、朝霞地区4市への医療機関、実施医療機関になると対象者が大幅に減少する
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○メタボ予防健診(13回 38人)</li> <li>・18歳以上40歳未満の市民で他に健診機会のない人が対象の健診を実施し、早期発見に努めている。</li> <li>○女性の健康チェックの実施(13回 202人)</li> <li>・18歳以上40歳未満の女性市民で他に健診機会のない人が対象の健診を実施し、早期発見に努めている。</li> <li>○健康Step up(ステップアップ)講座(10回 延244人)</li> <li>・糖尿病予防のための運動や健康講話を実施。</li> <li>○栄養相談(6件)</li> <li>・管理栄養士による糖尿病および糖尿病予備軍の人への食事指導を実施。</li> <li>○地元の野菜を食べよう!事業(4回延79人)</li> <li>・市民の野菜摂取量増加を目的とした調理実習と栄養講話を実施。</li> <li>○みんなの食生活講座(1回 32人)</li> <li>・「血糖値が気になる人の食事」を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メタボ予防健診</li> <li>・集団検診と同時開催で受診者増加。</li> <li>・若年からの生活習慣病予防の啓発の場。</li> <li>○女性の健康チェックの実施</li> <li>・特定健診等集団検診と同時実施とし利便性を考慮。</li> <li>・子どもの保育を実施し、子育て世代からの女性の健康づくりに寄与。</li> <li>・脂質異常症、貧血が多い。</li> <li>○健康Step up(ステップアップ)講座</li> <li>・60歳代後半から70歳代の参加が多く、健康ポイント事業参加者が当事業も参加。</li> <li>○地元の野菜を食べよう!事業</li> <li>・60歳代の参加が最も多く次いで70歳代であるため、若い世代へのアプローチが必要。</li> <li>○みんなの食生活講座</li> <li>・60歳代の参加が最も多く次いで70歳代であるため、若い世代へのアプローチが必要。</li> </ul>
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【保健】</li> <li>○特定健診・特定保健指導にて対応した。</li> <li>○ヘルスアップ相談で看護師・保健師・看護師・管理栄養士が個別相談として対応した。</li> <li>○埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業を実施した。糖尿病の重症化リスクの高い未受診者及び受診中断者への通知や電話等での受診勧奨(43名)を実施し、糖尿病性腎症に対する透析治療の重症化予防を主たる目的とした約6カ月間の訪問及び面接及び電話等による保健指導を実施(終了者4名)した。</li> </ul>	
	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康手帳の交付 配布数 112冊</li> <li>自分の健康管理に役立ててもらうため、健康教室や健康相談などで配布</li> <li>○一日健康教室(7回延べ168人)</li> <li>○ニコ筋半日教室(5回延べ101人)</li> <li>○すこやか広場健康相談(36回延べ245人)</li> <li>○すこやか広場栄養相談(36回延べ202人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康手帳の活用について周知が必要。</li> <li>○健康相談・健康教室に関しては、高齢者の参加が増えており、健康増進法の対象である働き世代の参加が増加するような工夫が必要である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○メタボ予防料理教室～バランスの良い食事～(2回 42人)</li> </ul>	○周知方法を工夫し、人数増を図る
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師講演会の実施(国民健康保険加入者対象)</li> <li>国民健康保険加入の40歳以上の方を対象に、糖尿病及びCKDについての講演会を実施した。参加者は30名。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師講演会の実施(国民健康保険加入者対象)</li> <li>・参加者が少ない。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施</li> <li>県の共同事業として、ハイリスク者に受診勧奨と保健指導を実施した。また、以前保健指導に参加された方に継続支援を実施した。(受診勧奨:164名、うち未受診者140名、受診中断者24名 保健指導:12名、継続支援:3名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施</li> <li>・人数が少ないので効果検証がしにくい。</li> <li>・保健指導の途中脱落者が多い。</li> </ul>
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防教室 糖尿病予防コース</li> <li>○糖尿病性腎症重症化予防プログラム</li> </ul>	○プログラムの継続支援終了後のフォロー体制の構築が必要
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診事後フォロー</li> <li>・特定保健指導対象者以外でHbA1cが高値の人に訪問実施</li> <li>○糖尿病性腎症重症化予防プログラム</li> <li>・受診勧奨(79人)、保健指導(16人)、継続支援(14人)実施</li> </ul>	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムでは主治医との指示書等で連携が取れているが、特定健診事後フォローでは医療機関連携等検討が必要。
	三芳町	○通院中の糖尿病性腎症患者に対して、かかりつけ医の指示に基づき食事や運動による生活習慣の改善を促す保健指導を実施。	○保健指導の必要性が無いと考える方が多いため指導件数が増えない。
朝霞保健所	○健康づくり・食育等担当者会議(9月11日)、健康課題対策会議(1月29日)において資料を提供し情報交換を実施	○若年層からの糖尿病予防の知識普及	
その他	朝霞市	○健康長寿サポーター養成講座の実施 317人	○健康長寿サポーター養成講座の実施
	志木市	○みそ汁塩分チェックキャンペーンの実施(4回延905人) 市民への減塩の啓発を目的に、0.7%濃度のみそ汁を試飲してもらうキャンペーンを実施	○人の集まる場所で実施するため、周囲を意識した回答をしている様子もあった。



埼玉県地域保健医療計画第6次圏域別取組実績報告調書(その2)

重点取組	小児救急医療及び周産期医療
目標	休日や夜間における急病や事故に遭った子ども及び危険度の高い胎児、新生児が必要な医療を適切に受けられるよう、小児救急医療体制及び周産期医療体制の整備を進めます。また、子どもの急病に対する保護者の不安を解消するとともに、症状に応じた適切な受診を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児救急医療体制の充実・強化</li> <li>休日・夜間における適切な小児救急受診の推進</li> <li>NICUの整備など周産期医療体制の整備・充実</li> </ul>
実施主体	医師会、医療機関、消防本部、市町、保健所

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
小児救急医療体制の充実・強化	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉病院において小児救急支援事業を実施</li> <li>協力医師の拡充、対応日の拡張対策</li> <li>協力要請の高い日曜、祝日の休日診療へ協力医派遣を推進</li> <li>12月～平成30年2月までの3か月間を強化月間として、基本的に毎日協力医を派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の実施に至っていない。協力医の増加が必要</li> <li>協力医が不足している為、実施日が減少している</li> </ul>
	朝霞市(朝霞地区4市、6市1町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児救急(二次救急)</li> <li>休日及び夜間の二次救急医療の運営に対し、補助金を交付(6市1町)</li> <li>(国立病院機構埼玉病院とイムス富士見総合病院が対応)</li> <li>小児科時間外診療</li> <li>堀ノ内病院(月2回)、TMGあさか医療センター(朝霞中央総合病院)(週5回)、新座志木中央総合病院(週2回程度)が自主的に実施</li> <li>小児救急医療寄附講座</li> <li>慶応大学病院と協定を締結し、慶応大学病院から小児科医の派遣(埼玉県、朝霞地区4市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝霞地区医師会との連携</li> <li>体制整備の継続</li> <li>医師の確保</li> </ul>
	志木市(管内6市1町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日および夜間に小児科を有する第二次救急医療施設が輪番制で行う診療に対し、朝霞保健所管内6市1町で負担金を交付</li> <li>朝霞地区の小児救急医療を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の確保</li> </ul>
	和光市	<p>【保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輪番制方式により行う休日及び夜間の第2次救急施設(小児病院群輪番制病院)の運営に対し、負担金を交付。(イムス富士見総合病院・埼玉病院)</li> <li>県、朝霞地区4市は慶応大学医学部に寄附講座を設置して埼玉病院へ慶応大学の小児科医の派遣を受けている。</li> </ul>	
	新座市(埼玉県、朝霞地区4市、医療機関)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日曜休日及び夜間、朝霞市、志木市、和光市とともに4市圏域内において、小児科を標榜する病院群が輪番制方式により二次救急医療を運営している。</li> <li>また、平成24年11月からイムス富士見総合病院を朝霞地区の小児救急輪番病院として位置づけ、受け入れを開始した。</li> <li>平成24年10月に慶應義塾大学に小児救急医療寄附講座を設置し、埼玉病院へ医師の派遣を開始した。また、平成27年4月から同大学に周産期医療寄附講座を設置し運営を開始している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉病院への救急患者の集中により、埼玉病院の救急患者受け入れ態勢の崩壊が危惧される。</li> <li>今後の初期救急医療体制の整備が大きな課題である。</li> </ul>
	ふじみ野市(東入間医師会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児夜間の初期救急医療が必要な方のために、東入間医師会の医師が当番制で診療を行っている。ふじみ野市、富士見市、三芳町で協定を締結し、東入間医師会に対して補助金を交付している。</li> <li>診療科目:小児科(16歳未満)</li> <li>診療日:月曜～土曜(日曜、祝日、年末年始、お盆期間を除く)</li> <li>診療時間:午後8時～10時</li> <li>診療日数:292日</li> <li>なお、休日急患診療所においても、小児科を実施している。</li> <li>診療日:日曜、祝日、年末年始。</li> <li>診療時間(小児科):午前9時～正午、午後1時～4時。</li> <li>診療日数:70日</li> </ul>	
	三芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児時間外医療として、月曜日から土曜日の20時から22時の診療を東入間医師会で実施した。</li> </ul>	

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・ 休日・夜間における適切な小児救急受診の推進	朝霞地区医師会	○和光市で実施している適切な受診に関するDVD講習、母子手帳への受講シールの貼付を他市でも実施するよう要望をしている。	○和光市以外の三市においても適切な受診に関するDVD講習の実施を検討したが、各市の事情により実施はしていないが、代わりに啓発リーフレットの配布をしている。
	東入間医師会	○全体で921人の受診。管内の市町の内訳は下記のとおり。 富士見市251人、 ふじみ野市534人、 三芳町102人、 上記以外34人。	○輪番で会員の医師が診察に当たっているが、高齢化に伴う負担感の増にどのように応えていくか。 ○大学病院との医師の応援体制の構築。
	朝霞市	○県の小児救急電話相談（#7119）について、保健センターガイド、広報、ホームページ等で市民への周知を図っている。 ○県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を、お誕生訪問等で配布	○救急医療利用者数の増加 ・適正医療をすすめるため、かかりつけ医の普及を図る。 ○朝霞地区医師会との連携 ・体制整備の継続
	志木市	○子どもの救急ミニガイドブック（埼玉県作成）を新生児訪問指導時に配布し、救急対応等の知識の普及に努めた。また、適宜広報・ホームページ等を活用し情報提供に努めた。 ○市ホームページにて、埼玉県小児救急電話相談（#7119）の周知 ○朝霞地区医師会（小児科医会）、朝霞地区3市（朝霞・新座・志木）で作成をした、小児救急医療機関への適正受診に関する資料を3か月健診で配布し適正受診の普及啓発に努めた。	○コンビニ受診の抑制
	和光市	【保健】 ○埼玉県の救急電話相談「#7119」の周知	
	新座市（朝霞地区4市）	○埼玉県の小児救急電話相談（#8000）等について、健康カレンダー、広報、ホームページ等で市民への周知を行っている。	○適正受診の呼び掛けを進めていくとともに、地域の医療は市民が守るという意識の高揚を図るための啓発活動が必要である。
	富士見市	○市報、ホームページ及び市民便利帳に掲載し、救急医療体制の周知を図った。 ○出生届出時に「赤ちゃん手帳」を配布し、救急時の医療情報や相談先などの情報提供に努めた。	
	ふじみ野市	○市報、ホームページ及び健康カレンダーに掲載し、救急医療体制の周知を行った。 ○「子どもの救急ミニガイドブック」出生届出時に交付。	
三芳町	○毎年度全戸配布する保健センター事業一覧にて、埼玉県小児救急電話相談と緊急医療情報案内を掲載した。なお、三芳町子育て支援のホームページにて日本小児科学会「子どもの救急」へのリンクを継続している。		
・ NICUの整備など周産期医療体制の整備・充実	朝霞市（朝霞地区4市）	○周産期医療寄附講座 ・慶応大学病院と協定を締結し、慶応大学病院から産科医を派遣（埼玉県、朝霞地区4市）	○医師の確保
	志木市（朝霞地区4市）	○朝霞地区の周産期医療体制を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施。	○医師・医療体制の確保
	和光市	【保健】 ○県、朝霞地区4市は慶応大学医学部に寄附講座を設置して埼玉病院へ慶応大学の産科医の派遣を受けている。	【保健】 ○医師の確保
	新座市（医療機関）	○慶應義塾大学からの新生児専門医の派遣により、埼玉病院における周産期診療、とくに平成24年度から新設されたNICUでの診療レベルアップがもたらされ、重症新生児への対応を含む地域の周産期診療の充実が図れた。平成27年度から周産期医療の寄付講座を設置している。	○小児科だけでなく、産科医の増員が必要である。
その他	朝霞地区医師会	○乳幼児健診における四市担当者との実施状況等の会合を行う。 ○健診時の健診者数に対する派遣医師数の調整 ○誤接種等の発生時に、医師会への報告を徹底、会員向け注意喚起の実施	
	埼玉県南西部消防本部	○小児・乳児に対する救命処置を含む救急講習を行っている。平成29年度は、上級救命講習に306名、保育園等の救急講習に647名が受講した。	○ひとりでも多くの方に救命講習を身につけていただくための環境を整えていきたい。

埼玉県地域保健医療計画第6次圏域別取組実績報告調書(その3)

重点取組	精神保健医療福祉対策
目標	早期発見、早期治療を促すための精神疾患に対する正しい理解を促進します。また、病状やニーズに応じた、適切な医療・福祉サービスが受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる体制づくりを目指します。さらに、地域ぐるみの自殺予防対策を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患への正しい知識の普及</li> <li>精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実と連携</li> <li>地域生活支援体制の整備</li> <li>自殺予防対策の推進</li> </ul>
実施主体	市町、保健所、医師会、医療機関、薬剤師会、福祉機関、教育機関、労働機関、保健衛生団体

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
精神疾患への正しい知識の普及	朝霞地区医師会	○埼玉県医師会・朝霞地区医師会で開催されるうつ病対策・メンタルヘルス対策の講習会への参加を促進している。	○うつ病対策・メンタルヘルス対策の講習会参加者の増加 ○産業医資格取得の促進
	朝霞市	【長寿はつらつ課】 ○認知症サポーター養成講座の実施 講座実施回数 21回、参加数 1,014人 ○認知症ケアガイドブックの配布	
	志木市	【全市民対象】 ○こころの安全週間を5月に設定し、自殺予防週間のある9月も合わせて東武鉄道と共催で啓発キャンペーンを2回実施し物資5,000個配布。広報や健康まつりで啓発を実施 【産後のうつ予防】 ○妊娠届出時等に産後うつ予防のためのリーフレットを配付(配布数 686部) 【引きこもりへの対応】 ○精神保健家族教室(2回 延19人)対象疾病/うつ病	○自殺の原因はさまざまであり、本人が訴えないため啓発が難しい。
	和光市	【保健】 ○ヘルプサポーター(健康づくりボランティア)養成講座でうつを中心に講義を行っている。 【社会援護課】 ○個々のケース及びその関係者に対して、担当職員から病気の特徴や支援方法などアドバイスをしている。 ○地区社協などの地域住民団体に対し、講義・施設見学会などを行い、正しい知識普及に努めた。	【保健】 ○広く一般の市民への普及を検討する必要がある。 【社会援護課】 ○市民に対する幅広い周知啓発が必要である。
	新座市	○「統合失調症の方の社会復帰について」 対象:統合失調症の方を家族に持つ方及び関心のある方 参加人数:①33名②17名 講師:①精神保健福祉士②精神保健福祉士、精神障害者家族会会員 内容:①講義、バーチャルハルシネーション上映②グループワーク	○これまで統合失調症をテーマとした家族教室を毎年開催しているが、年々参加者が減少し、27年度はテーマをうつ病に変更して家族教室を開催したが、参加者が集まらなかった。28年度は実施せず、29年度に関しては、統合失調症の社会復帰とポイントを絞ったテーマで開催したこと、対象を家族だけでなく関心のある方にも広げたことで参加人数が増加したことが考えられる。対象の拡大や時流にあったテーマを取り上げて開催していくことが必要と思われる。
	富士見市	○あいサポーター研修において、障がい全体の理解を行う研修を市内で年間40回実施し143人があいサポーターとなった。当事者体験を聞く機会があり、断酒会の方の体験談もおこなった。	○精神障害に特化したものではなく、身障知的障害も含めた障がい全般を対象とした研修なので、さらに掘り下げて知りたいという人への対応を要する。
	ふじみ野市	【障がい福祉課】 ○「高次脳機能障害」について、当事者会の方を招き、平成30年3月11日に講義形式で講座を開催した。	【障がい福祉課】 ○当事者グループや家族会など、発展的な活動を狙っていたが結果としてグループはできなかった。しかし、家族と家族の繋がりができたため、自発的に発展することを望んでいる。
	三芳町	○家族教室の開催 ○協力者養成講座の開催 ○あいサポーター養成講座の開催	○知識の普及は今後も継続的に実施する必要がある。
朝霞保健所	○精神保健個別支援研修会 5回開催(6月、9月、10月、12月、2月) 延べ59名 ○ひきこもり家族教室 2回開催(11月、12月) 参加者21名 ○ひきこもり支援に係わる情報交換会 1回開催 9機関 15名参加	○支援技術の向上を目的とした継続的な研修の場の提供が必要。 ○ひきこもり者への適切な対応の学習や、家族の孤立化防止のため、家族教室の継続的開催が必要。 ○ひきこもりに支援には、多職種が係わる必要があり、関係機関の情報交換会での情報更新の継続が必要となる。	

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実と連携	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業医相談会において、事業所、労働者の相談指導を実施し、産業医研修会においてメンタルヘルス関係の講習会等受講を推進する。</li> <li>○ストレスチェック制度に関する情報提供</li> <li>○認知症サポート医養成研修会の受講の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業医資格の取得の推進</li> <li>○認知症サポート医の増加 (朝霞市1名 志木市1名 和光市1名 新座市3名)</li> </ul>
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精神保健相談(電話・面接・訪問等)123件(電話81件、面接26件、訪問12件、その他4件)</li> <li>○こころの健康相談(10回 13件)</li> <li>【障害福祉課】</li> <li>&lt;対象者:統合失調症等&gt;</li> <li>・精神保健福祉担当者会議</li> <li>・精神保健福祉相談(週1回)</li> <li>・高次脳機能障害地域相談会、講演会への協力</li> <li>・障害者就労支援センター(指定管理)の運営</li> <li>【長寿はつらつ課】</li> <li>○認知症初期集中支援チーム員会議の開催 12回</li> <li>○在宅医療・介護連携推進会議に係る研修会及び情報交換会(多職種連携)の開催 5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こころの健康相談は、月1回であり偶数月にPSW、奇数月に医師が担当している。相談内容によっては時期を待ってもらうなど、タイムリーなつながりが難しい場合がある。</li> <li>【障害福祉課】</li> <li>○関係機関との連携</li> </ul>
	志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【精神疾患全般】</li> <li>○精神科医または心理カウンセラーによるこころの相談12回(27件)</li> <li>○保健師による精神保健相談(電話/随時、面接・訪問/予約制)延787件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こころの相談は月1回の実施でタイムリーに相談につながらないこともある。関連機関との連携の推進</li> </ul>
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【保健】</li> <li>○精神科医師または臨床心理士がこころの問題で悩んでいる方やその家族への相談として、こころの相談を年10回実施。</li> <li>○こころの相談員(保健師)の配置(週3日)</li> <li>○保健師による随時相談の実施(電話・窓口・来所)</li> <li>市ホームページに各種相談事業の相談窓口一覧を掲示</li> <li>【社会援護課】</li> <li>○和光市地域生活支援センターと、和光市中央障害者相談支援事業所の2箇所で、継続支援を実施。必要に応じてサービス利用調整、医療機関・関係機関との連携等を図り、支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【保健】</li> <li>○相談窓口をさらに多様にするため、外部団体へのリンクを増やすなど検討する必要がある。</li> <li>【社会援護課】</li> <li>○支援を必要とする方は増加傾向にあり、事業所の整備は今後も必要である。</li> </ul>
	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○来所相談 延べ81件</li> <li>○家庭訪問 延べ90件</li> <li>○電話相談 延べ876件</li> <li>○精神保健相談</li> <li>・開催数:9回(10回予定であったが、1回は相談希望がなかったため、未実施。)来所による精神科医師への相談事業・実件数14件 来所相談者数 15名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精神保健相談では、うつ病の相談の他、ひきこもりや発達障がい、アルコール依存等の内容も増えており、年々相談内容が複雑かつ多岐にわたるようになってきている。</li> </ul>
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基幹相談支援事業所、市内精神障害者を主な対象としたNP</li> <li>○法人等との定例協議、同行訪問・受診、個別支援会議等実施</li> <li>○精神科医師相談(こころの健康相談)毎月1回</li> <li>○市職員(保健師、精神保健福祉士、社会福祉士等による)来所相談、電話相談、訪問相談の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報共有・連携の強化が必要。</li> <li>○住居や、夜間緊急時土日対応が困難。</li> </ul>
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【障がい福祉課】</li> <li>○障がい者相談支援センターとの連携を随時実施。</li> <li>【保健センター】</li> <li>○職員対応相談の継続実施</li> <li>○年12回、専門職種(臨床心理士・精神科医)による相談を実施。臨床心理士は10回、精神科医は2回実施。下記日程の①～⑩は臨床心理士、⑤⑩は精神科医師も加わり従事した。</li> <li>①平成29年 5月12日(金) ②平成29年 6月16日(金)</li> <li>③平成29年 7月 7日(金) ④平成29年 8月18日(金)</li> <li>⑤平成29年 9月29日(金) ⑥平成29年10月20日(金)</li> <li>⑦平成29年11月10日(金) ⑧平成29年12月22日(金)</li> <li>⑨平成30年 1月12日(金) ⑩平成30年 2月16日(金)</li> </ul>	
	三芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回、精神科医による「こころの健康相談」を実施</li> <li>・広報誌、ホームページにより周知した</li> <li>○委託先相談事業所と連携し、相談(電話、来所、メール、訪問)を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひきこもり、発達障害の2次障害、気分障害等、複雑な問題家族関係の問題が増えている。</li> </ul>
朝霞保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○随時相談</li> <li>・家庭訪問 延べ353件 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち統合失調症等 309件(88%)</li> <li>アルコール関連 20件(4%)</li> <li>ひきこもり相談 21件(4%)</li> </ul> </li> <li>・面接相談 延べ3378件 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち統合失調症等 3099件(92%)</li> <li>アルコール関連 87件( 3%)</li> <li>心の健康 75件( 2%)</li> <li>老人精神保健 36件( 1%)</li> </ul> </li> <li>・電話相談</li> <li>○ひきこもり専門相談 臨床心理士による相談 5回実施 利用者延べ11名</li> <li>○管内市町で開催する事例検討会に参加、定期的な支援事例の情報共有や、困難事例の処遇検討会にも参加。</li> <li>○精神保健連絡調整会議(市町関係者)1回開催 24名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○随時相談は管内市町保健福祉関係者からの相談や、その紹介による相談が増加している。相談後の対応においても支援関係者との連携強化が重要となっている。</li> <li>○ひきこもり専門相談は実施機関が限られており、保健所での継続実施が必要。引き続き事業の周知を図る必要がある。専門相談の効果的な活用や継続支援のため、基本的な相談スキルの向上と管内市町相談関係者との連携強化が課題となる。</li> <li>○管内市町との情報共有や連携強化のために会議の継続が必要。</li> </ul>	

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・ 地域生活支援体制の整備	朝霞地区医師会	○各市のメンタルヘルス関係の窓口やメンタルヘルス対策講演会に医師を派遣している。 ○埼玉県認知症疾患医療センター(菅野病院)との連携による認知症患者及び家族への支援体制の構築。	
	朝霞市	【障害福祉課】 ○精神保健福祉担当者会議(7回) ＜対象者:統合失調症等＞ ・障害者総合支援法による個別支援(計画相談、サービス支給決定等) ・地域生活支援事業(地域活動支援センター、移動支援等) ・日常生活のサービス(生活サポート等) ・医療(自立支援医療、精神障害者通院医療費助成事業) ・社会参加(福祉タクシー利用券の交付等) ・経済的援護(在宅手当等) 【長寿はつらつ課】 ○徘徊高齢者声かけ訓練の実施 ○認知症家族介護教室 全3回構成 ○認知症カフェの実施:市内5圏域の地域包括支援センター主催にて毎月1回実施。 ○認知症地域支援推進員の配置 地域包括支援センター 5名、市 2名配置	【障害福祉課】 ○関係機関との連携の継続 ・精神障害者手帳所持者等の増加への対応 ・個々にニーズにあった個別支援 ・関係機関との連携 ・地域移行に向けての取組み
	志木市	【精神疾患全般】 ○相談技術指導(スーパーバイズ)3回実施。保健所、介護保険、教育関係の事業所や、女性相談の担当者なども参加している。 ○保健所とケースレビュー年2回実施し連携を図る。	○関連機関との連携の推進。精神保健相談の特性から相談技術の獲得が必要である。
	和光市	【保健】 ○相談内容によって、必要時関係部署や関係機関につないでいる。 【社会援護課】 ○本人のニーズや状況に応じて、在宅サービスや通所サービスを調整。そのほか、必要に応じて成年後見制度等の利用支援や関係機関との連携を行った。	【保健】 ○関係部署、関係機関との連携のシステムが未完成である。 【社会援護課】 ○サービス提供事業所の設置を整備計画に基づき進めていく必要がある。
	新座市	○ソーシャルクラブ「シナモン」 ・精神障がい者の方の仲間づくりや社会参加の促進をすすめ、地域で生活できるように支援する目的で開催している。 年間37回 延べ参加人数114名	○就労につながり、社会生活に参加できるようになる方もいるが、症状が慢性的で加齢に伴い社会参加のチャンスが少なくなる方もいる。また、病状が不安定で、継続しての参加が難しく、欠席が続く登録者が少なくない。
	富士見市	○基幹相談支援事業所、市内精神障害者を主な対象としたNP ○法人等との定例協議、同行訪問・受診、個別支援会議等実施 ○2市1町指定特定相談支援事業所ネットワーク連絡協議会への参加(定例毎月) ○富士見市障害者施策推進協議会相談支援部会	○情報共有・連携の強化が必要。 ○住居や、夜間緊急時土日対応が困難。 ○地域包括ケアシステムの構築に向け、市では医療機関との連携が弱く、保健所等の協力を求めたい。
	ふじみ野市	【障がい福祉課】 ○相談支援センター、就労支援センターとの連携 ○精神保健福祉連絡会を6回、ケース検討を6回実施。 ＜精神保健福祉連絡会＞ ①5月26日、②7月28日、③9月22日、④11月24日、⑤1月26日、⑥3月23日 ＜ケース検討会＞ ①4月28日、②6月23日、③8月25日、④10月27日、⑤12月22日、⑥2月23日	【障がい福祉課】 ○精神保健福祉連絡会について、医学的な立場のメンバーの招集を図りたい。(平成30年度から一医療機関が委員加入となった。)
	三芳町	○福祉課の相談窓口に加え、障がい者相談支援センターを町単独で委託し、相談体制の充実を図った。 ○関係機関との個別支援会議、町内の相談支援事業所の連絡会議を開催した。	○相談件数の増加及び複雑化に伴い、相談対応職員の個々の技術の向上を今後も継続的に深めていく必要がある。
	朝霞保健所	○精神保健福祉ネットワーク会議 ・精神障害者の地域支援の充実を図るため、管内精神保健福祉等関係機関のネットワーク構築を目的とした会議を開催2回実施 参加者延べ70名 ○精神保健福祉推進会議 ・精神障害者の地域生活移行や地域定着、安心して地域で暮らせる支援を推進するために、地域の課題を抽出し解決に向け検討していく目的で会議を開催 2回実施 参加者延べ18人 ○管内市町の自立支援協議会に出席。	○関係機関のネットワークの形成の場が継続的に必要。また、支援関係者の支援技術の向上も継続的に必要となる。 ○緊急業務対応のため、自立支援協議会への出席が不可能な場合があり、日常業務を通じて連携強化に努めている。 ○措置入院や医療保護入院をした者が、退院後の治療を継続し、安心して地域生活を送れるように、関係機関が連携して支援する必要がある。



主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
自殺予防対策の推進	朝霞地区医師会	○埼玉県医師会等で開催される自殺予防対策講習会等への参加を呼びかけ、専門的知識、技能の修得を推進	
	朝霞市	○ゲートキーパー研修(市内教職員向け 延べ42人) ○ゲートキーパー研修(市職員向け 延べ72人) ○メンタルチェックシステム「こころの体温計」実施 ○自殺予防ポケットティッシュの配布	○市職員向けゲートキーパー研修では自主参加となっているが、全職員に定期的実施していきたい。
	志木市	【若年者の自殺予防】 ○小学校高学年とその保護者を対象に自殺予防対策授業を年2回(参加者、児童125人、保護者20人)実施した。 ○養護教諭と連携し、教職員を対象としたゲートキーパー養成講座(参加者27名)を開催。 【全市民対象】 ○庁内連絡会議を3回開催。	○身近な相談を受ける市民(子ども・家族や民生委員等)に自殺予防についての視点が持てるように啓発。様々な市民を対象に事業の実施が必要である。
	和光市	【保健】 ○第1期の和光市自殺対策計画について、策定委員会を設置し、策定作業を行った。平成30年3月末策定済 ○こころの相談を精神科医、臨床心理士、保健師で受けた。相談件数292名(延べ) ○小中学生を対象に「いのちの標語」を募集し、市民まつりにおいて掲示。 ○メンタルヘルスチェックを市ホームページに掲載し、周知、利用促進を図った。 ○9月を和光市こころの健康づくり月間とし、広報掲載、図書館に「こころの健康づくり」コーナーを設けた。 3月の自殺対策強化月間でも掲示。	
	新座市	○自殺予防対策事業 (1)ゲートキーパー養成講座 ①「マインドフルネスを体験しよう～新しいストレスとの付き合い方を学びませんか?～」対象:18歳以上の市内在住・在勤の方 参加人数:49名 保育児:14名 講師:臨床心理士、研究員 内容:講義、瞑想体験 ②「いまどきの睡眠について～睡眠負債、あなたは大丈夫?～」対象:18歳以上の市内在住・在勤の方 参加人数:71名 保育児:11名 講師:産業医 内容:講義・不眠症自己診断 ③「自殺予防について」対象:市職員 参加人数:25名 講師:大学教授 内容:新座市自殺対策に向けて (2)アルコール講演会(志木市・新座市・朝霞保健所共催事業) 「こころ」と「からだ」のアルコール健康講座～節酒のすすめ～ 参加人数:全3回の合計81名 講師:医師 内容:講演会、グループワーク (3)自殺予防啓発事業 ①自殺予防対策チラシ全戸配布:配付数は75,700部。内容はこころの健康相談窓口一覧、自殺予防の普及啓発等。 ②図書館特集展示:図書館の協力を得て、自殺予防に関する図書やパネルの展示。9月開催。 ③ツイッター:8月の新学期直前及び自殺予防週間初日と最終日にツイート ④ホームページ・広報:9月の自殺予防週間、3月の自殺予防月間	○ゲートキーパー養成講座については、対象ごとに内容を検討し、参加者の視点に合わせ、ゲートキーパーの役割をより身近に感じ、学んでいただけるように開催した。その結果、参加者からのアンケートでは満足度が高かった。 ○働き世代と子育て世代が重なると思われることから、引き続き、保育つきの講座を開催し、働き世代の参加者を集めていく必要がある。
	富士見市	○高齢者対象「アンガーマネジメント」 ○ゲートキーパー養成講座 ○東武鉄道と共同で自殺対策強化月間に市内駅にて普及啓発事業を実施 ○市ホームページによるセルフチェックシステム「こころの体温計」実施	○自殺対策計画の策定と庁内外組織の立ち上げ及び継続。
	ふじみ野市	【障がい福祉課】 ○窓口で相談を受けた場合、専用シートに記入し、保健センターへ情報提供を行う。(2件/年) 【保健センター】 ○庁内連絡会議の実施(7月18日、12月15日、2月20日) ○ゲートキーパー養成研修(庁内職員:1月22日、学校関係職員:11月28日・保健推進員向け:10月3日) 累計受講者数:896人 ○こころの健康セミナー(3月9日) 参加者数:40人 ○図書館展示(3月1日～3月31日)	【保健センター】 ○庁内連絡会議:計画の見直しを図り、計画策定・施行に至った。(平成30年10月1日施行)今後は効果的なPDCAサイクルの実施が検討課題である。
	三芳町	○退職前後の男性向けに「うつ予防講座」を開催 ○学校職員向けに「うつ予防講座」を開催	○今後も町全体で自殺予防の理解を深め、意識を高めていく必要がある。 ○自殺予防対策計画の策定
	朝霞保健所	○県民向け講演会「こころと体の健康とアルコール健康講座」を実施。3回開催(志木市生活習慣病予防対策と協働、新座市と共催) 参加延べ 81名 ○精神保健連絡調整会議において、効果的な自殺予防の取組のため、管内市町の取組について情報交換を実施 ○管内市町の自殺予防関連会議、キャンペーン事業に参加 ○保健所窓口等で啓発リーフレット、相談窓口案内カードの配布	○アルコール問題への効果的な介入のため、市町の生活習慣病予防対策と関連付けた普及啓発を継続して行っていく必要がある。 ○管内市町においてより効果的な取組が継続して実施されるよう、支援する必要がある。
その他	朝霞市	【障害福祉課】 <対象者:統合失調症等> ・医療保護入院における市長同意事務	

埼玉県地域保健医療計画第6次圏域別取組実績報告調書(その4)

重点取組	歯科保健対策
目標	歯や口腔の健康状態を保持増進し80歳で20本以上の歯を保有することをスローガンとした8020運動を達成するために、埼玉県歯科口腔保健の推進に関する条例に基づき、歯周疾患とう蝕の予防のため、妊娠期、乳幼児期から高齢期までそれぞれのライフステージを通じた歯科口腔保健を推進します。また、障害をもつ方も質の高い生活を送れるような歯科口腔保健の推進に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発</li> <li>・ 歯科検診・歯周病健診等の推進</li> <li>・ 地域における歯科保健医療体制の整備および連携強化</li> </ul>
実施主体	市町、歯科医師会、歯科衛生士会、医師会、薬剤師会、教育機関、介護・福祉関係機関、保健所

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・ 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マタニティ教室での歯科保健指導(63人)</li> <li>○ 1歳6か月健診における歯科保健指導(1,270人)</li> <li>○ 3歳児健診におけるフッ化物塗布(1,148人)</li> <li>○ 成人歯科健康教育(2回 72人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種保健指導、健康教育等</li> <li>・ むし歯のない者の割合の増加</li> <li>・ 口腔機能の維持、向上</li> </ul>
	志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康step up講座(2回 延52人)</li> <li>・ 生活習慣病の予防と健康意識の向上を目的に、運動とミニ講話を組み合わせた講座を実施した。</li> <li>○ 健康まつり(1回 1,000人)</li> <li>・ 「歯の健康啓発コーナー」で、歯科医師・歯科衛生士による歯科健康相談を実施した。また、口腔の細菌数・湯きチェックを実施し、歯科衛生士による歯みがき相談・指導を実施した。</li> <li>○ 8020よい歯のコンクール表彰事業</li> <li>・ 健康まつりの開会式で4人の方を表彰した。</li> <li>○ むし歯予防教室(7回 延110人)</li> <li>・ 市内4か所の子育て支援センターとの共催事業。乳幼児期の健全な食習慣の確立と、むし歯予防を目的に、歯科衛生士・管理栄養士による講話と、個別ブラッシング指導を実施している。</li> <li>○ 離乳食教室(カミカミ期)(6回延149人)</li> <li>・ 8~9か月児とその保護者を対象に歯のミニ講話を実施した。</li> <li>○ パパママ学級(6回 延38人)</li> <li>・ 妊婦を対象に、「ママと産まれてくる子どもの歯を守ろう」をテーマに講話を実施。染めだし後、個別ブラッシング指導を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康step up講座</li> <li>・ 新規と65歳未満の参加者が少ない。</li> <li>○ 8020よい歯のコンクール表彰事業</li> <li>・ 対象者の募集や高齢であるためコンクール参加への安全配慮が必要である。</li> <li>○ むし歯予防教室</li> <li>・ 参加者のニーズを明確化し、行動変容につなげる方法の検討が必要である。</li> </ul>
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【長寿あんしん課】</li> <li>○ 介護予防・日常生活支援総合事業として、65歳以上の高齢者を対象に通所型サービス及び訪問型サービスを実施し、その中で、口腔ケア向上の講義を行っている。</li> <li>【保健】</li> <li>○ 国保集団・集団健診結果説明会の小グループ指導で「歯周疾患予防」について講義を実施。</li> <li>○ 歯周疾患検診の受診勧奨案内を前年度40歳、50歳、60歳の市民へ個別通知。</li> <li>○ 10か月健診時に、ヨチヨチ赤ちゃん歯みがき教室を実施(年12回)。</li> <li>○ 1歳6か月健診時に、むし歯予防教室を実施(年12回)。</li> <li>○ 3歳児健診時に、希望者に対しフッ化物塗布を実施(年12回)。</li> <li>○ 健康フェアにて、お口元気に「はつらつ体操」と「吹き矢」で楽しく健康維持を実施。</li> <li>【市内各保育園】</li> <li>○ 歯磨き指導</li> <li>【小・中学校】</li> <li>○ 地域学校保健委員会の実施(小・中学校)</li> <li>○ 歯と口のポスターコンクール・歯科保健コンクール・学校歯科保健研究大会への参加・歯と口の健康週間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【小・中学校】</li> <li>○ 外部指導者の確保、日程調整</li> <li>○ 予算との関連</li> </ul>
	保育園 小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パパママ学級</li> <li>・ 初回出産予定の方を対象に、保健センターにて、パパママ学級の1回目、歯科衛生士による妊娠中の歯の衛生について講義を実施している。(実施回数:4回)</li> <li>○ 高齢者いきいき広場健康教室</li> <li>・ 60歳以上の方を対象に、市内5か所各高齢者いきいき広場にて、年2回歯科衛生士による歯・口・飲み込み等について講話を実施している。(実施回数:延10回)</li> <li>○ 歯科医師講演会(国民健康保険加入者対象)</li> <li>・ 口腔衛生とメタボリックシンドロームについて、歯科医師と歯科衛生士による講演会を実施した。参加者12名。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パパママ学級</li> <li>・ 周知方法としては、広報、母子健康手帳交付時及び市ホームページへの掲載を実施している。開催月により受講者数のばらつきがある。</li> <li>○ 高齢者いきいき広場健康教室</li> <li>・ 周知方法としては、健康カレンダー、各広場へチラシの配布、市ホームページへの掲載を実施している。年々、参加者は増加傾向にあるが、各広場によって、ばらつきがある。</li> <li>○ 医師講演会の実施(国民健康保険加入者対象)</li> <li>・ 参加者が少ない。</li> </ul>
新座市			



主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・ 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発	富士見市	<p>○歯と口の健康フェア</p> <p>・歯科健診 フッ化物塗布 フッ化物洗口 歯科相談 口臭チェック ブラッシング指導 口腔がん検診</p> <p>平成27年度開室したピアザ☆ふじみを会場に開催。</p> <p>○8020・親子よい歯のコンクール</p> <p>○健康まつり</p> <p>・歯科コーナーで歯科医師・歯科衛生士による保健指導等を実施している。</p> <p>○特定保健指導・生活習慣病予防教室等の中で、歯周病予防講座を実施</p> <p>○介護予防教室の中で、歯科検診や歯科についての講話・個別指導を実施</p>	<p>○歯科単独の講座では、参加者が少ないため、他の事業と併せて実施する必要がある。</p> <p>○介護予防教室の中で、歯科口腔、栄養、運動と複合的に対応していく必要がある。</p>
	ふじみ野市	<p>【保健センター】</p> <p>○歯の健康フェアの開催(5/28開催。延べ1,045人参加)</p> <p>○歯と口の健康づくり講演会(10/19開催。47人参加)</p> <p>○市報、ホームページで歯科口腔保健の周知</p> <p>○個別成人歯科健診の一部対象年齢者(40・60歳)に歯科口腔保健に関するパンフレットの送付(無料歯科健診の御案内に同封)</p> <p>○筋力アップ事業の中で歯科衛生士による歯科口腔保健講座を実施 180人</p> <p>○10か月児相談にて歯科衛生士による歯みがき指導</p> <p>○地域健康教育 歯科衛生士による歯科口腔保健の講座 計3回 延べ145人</p> <p>○自主グループに対する歯科衛生士による歯科口腔保健の講座 1回 9人</p> <p>○保育所での歯科健康教育(5歳児)100人</p> <p>○歯科衛生士による個別歯科健康相談 実20人、延べ38人</p> <p>○パパママセミナーにおいて、妊婦とそのパートナーに対する歯科口腔保健講座を実施 計6回 延べ55人</p> <p>○歯科医師によるコラムを市報11月号へ掲載「こどもの歯を守るために」</p> <p>○「お口の健康手帳」を妊娠届出時に母子健康手帳と同時に配布</p> <p>【高齢福祉課】</p> <p>○介護予防教室を開催</p> <p>○70・75・80・85歳を対象に基本チェックリストを送付。</p>	<p>○各種事業において啓発しているが、市民の行動が結びついていないため、より生活に即した啓発内容を検討していく。</p>
	三芳町	<p>○1歳6ヶ月、2歳児、3歳児健診時にブラッシング指導及び個別相談の実施</p> <p>○保育所歯科ブラッシング</p> <p>公立保育所2ヶ所、民間保育所3ヶ所の3～5歳児童を対象に保健師によるブラッシング指導を実施</p> <p>○介護予防教室</p> <p>65歳以上の高齢者を対象にした、口腔ケアやブラッシングに関する教室を実施</p>	
	朝霞保健所	<p>○各市町における歯科口腔保健事業を推進していくための根拠となる歯科口腔保健条例策定会議等に参画、管内歯科口腔保健の状況を把握</p>	<p>○普及啓発する機会が少ない。</p>
	朝霞市	<p>○マタニティ教室での歯科健康教育(63人)</p> <p>○1歳6か月児健診における歯科健康診査(1,387人)</p> <p>○3歳児健診における歯科健康診査(1,347人)</p> <p>○親子歯科健診(親子 310人、子のみ 39人)</p> <p>○成人歯科健診(468人)</p>	<p>○各種歯科健康診査</p> <p>・歯科健康診査受診者の増加</p> <p>・むし歯のない者の割合の増加</p> <p>・口腔機能の維持、向上</p>
・ 歯科検診・歯周病健診等の推進	志木市	<p>○1歳6か月児歯科健診(664人)</p> <p>・1歳6か月児健診と同時に年12回実施。歯科健診後、歯科衛生士による保健指導と個別ブラッシングを実施している。</p> <p>○3歳児歯科健診(692人)</p> <p>・3歳児健診と同時に年12回実施。歯科健診後、フッ化物塗布、歯科衛生士による保健指導を実施している。</p> <p>○5歳児親子いっしょに歯科検診(163組)</p> <p>・年度中に5歳となる子どもとその保護者を対象に、朝霞地区歯科医師会加入の医療機関で実施している。</p> <p>○成人期歯科検診(53人)</p> <p>・満50歳の方を対象に歯科検診を朝霞地区歯科医師会加入の医療機関で実施。</p>	<p>○1歳6か月児歯科健診</p> <p>・受診児数の増加に伴い、個別指導の円滑な実施方法の検討が必要である。</p> <p>○3歳児歯科健診</p> <p>・多数う蝕のある児に対し個別指導をおこなっても、継続的な治療につながりにくい。</p> <p>○5歳児親子いっしょに歯科検診</p> <p>・受診率は23.7%と低い。受診した保護者の多くは、経過観察や治療を要しているため、今後も受診率向上をめざし、周知に努めて行く。</p> <p>○成人期歯科検診</p> <p>・受診率は5.3%と低い。受診した人の多くは、経過観察や治療を要しているため、今後も受診率向上をめざし、周知に努めて行く。</p>
	和光市 保育園 市教委 及び 小・中学校	<p>【保健】</p> <p>○歯周疾患検診の実施(102人)</p> <p>【市内各保育園】</p> <p>○歯科検診(年1回以上)</p> <p>【市教委及び小・中学校】</p> <p>○検診実施済み</p> <p>○治療勧告等対応済</p>	<p>【市教委及び小・中学校】</p> <p>○歯科治療率の向上、歯科口腔保健に対する意識啓発</p>
	新座市	<p>○成人歯科検診</p> <p>・集団検診は18歳以上、個別検診は40歳以上の節目年齢の方を対象に、歯科検診と歯みがき指導を実施した。平成26年度までは集団検診の対象者を18歳から39歳までの方としていたが、平成27年度から18歳以上の方を対象者を拡大した。実施方法は保健センター等を会場とした集団検診と、朝霞地区歯科医師会加入の協力歯科医院において実施する個別検診の2種類を設けた。(受診者数:365人)</p>	

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
・ 歯科検診・ 歯周病健診等 の推進	富士見市	<p>○成人歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内歯科医療機関で6月から翌年2月までの期間、妊産婦及び20歳以上の市民を対象に実施</li> <li>20歳以上 自己負担500円 353件</li> <li>妊産婦 自己負担なし 94件</li> </ul> <p>○12か月児健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12か月児健康診査(年16回)時に、歯科衛生士による口腔ケア講座を実施:909人</li> </ul> <p>○1歳6か月児健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健康診査(年16回)時に、歯科健診とブラッシング指導を実施:909人</li> </ul> <p>○3歳児健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健康診査(年12回)時に、歯科健診とブラッシング指導を実施:901人 フッ化物塗布実施数:650人</li> </ul>	<p>○成人歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者数が少ない。</li> </ul> <p>○1歳6か月児健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県平均に比べ、1人あたり虫歯保有数、むし歯のある児とも多い傾向にある。</li> </ul>
	ふじみ野市	<p>【保健センター】</p> <p>○成人歯科健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間:H29. 7. 1~H29. 12. 28</li> <li>対象者:18歳以上(対象外要件あり)</li> <li>※過去に受診したことのある人へ、受診勧奨はがきを送付した。</li> </ul> <p>○妊婦歯科健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間H29. 4. 1~H30. 3. 31</li> <li>対象者:母子健康手帳の交付を受けている妊婦(対象外要件あり)</li> </ul> <p>○1歳6か月児歯科健診</p> <p>○3歳児歯科健診</p>	<p>○要精検・要治療の人が成人歯科健康診査で93%、妊婦歯科健康診査94%であり、受診状況確認を行い、未受診者には受診勧奨を行う等、意義ある健診になるよう努めていく。</p>
	三芳町	<p>○歯周疾患予防検診</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内歯科医療機関で7月から12月までの期間、20歳以上の町民を対象に実施 費用無料 29年度 69件</li> </ul> <p>○1歳6ヶ月健診(1歳6~7ヶ月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6ヶ月児を対象に歯科健診とブラッシング指導を実施 232人</li> </ul> <p>○2歳児歯科健診(2歳6~7ヶ月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児童を対象に歯科健診とフッ化物塗布(希望者のみ)を実施 296人</li> </ul> <p>○3歳児健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健康診査(年12回)時に、歯科健診とブラッシング指導を実施 240人</li> </ul>	<p>○予防が可能な世代及び新規の対象者の受診を促すべく、妊婦に対しても妊娠届のグッズに周知チラシ等を入れ、受診者の増加を図っていく</p> <p>○歯周疾患予防検診</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者数が少ない。</li> </ul>
	朝霞保健所	<p>○各市町における歯科口腔保健条例策定会議等に参画</p> <p>○管内市町の歯科口腔保健事業の実施状況を把握、管内歯科保健関係者及び市町担当者と情報を共有</p>	<p>○働きざかり世代へのアプローチ</p>
・ 地域における 歯科保健医療 体制の整備 および連携強化	朝霞市	<p>○歯科保健事業担当者会議(1回開催)</p>	<p>○歯科保健事業担当者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携により、地域における歯科保健医療体制の整備を図る。</li> </ul>
	和光市	<p>【長寿あんしん課】</p> <p>○介護予防・日常生活支援総合事業として、摂食・咀嚼機能等の低下またはそのおそれのある高齢者や口腔衛生状態の不良を改善する必要のある高齢者に対し、誤嚥性肺炎や口腔疾患等の予防および機能向上を図るための指導等を行う。</p> <p>歯科診療所の歯科看護師、歯科衛生士に単価委託契約。</p> <p>H29年度実績 実人数1人。</p> <p>【学校教育課】</p> <p>○朝霞保健所歯科口腔保健連携会議へ参加</p> <p>○朝霞地区学校保健会との連携協力</p>	<p>【長寿】</p> <p>○初回訪問時のアセスメントにより、「指導」ではなく「治療」が必要な状態の方が多く、歯科治療終了後の導入となるため、初回介入から導入までの期間が長い。</p>
	新座市	<p>○朝霞地区障がい者等歯科保健医療システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞地区歯科医師会と連携し、在宅歯科医療推進窓口へ高齢者、障がい者の受診相談をつなげている。また向陽園(障がい者歯科診療所)の情報を提供している。</li> </ul>	
	富士見市	<p>○富士見市歯科口腔保健推進委員会を実施(年2回)</p> <p>○要介護者・障がい者(児)に向けて、歯科医療機関のリーフレットを作成</p>	
	ふじみ野市	<p>【保健センター】</p> <p>○東入間地区在宅歯科医療支援窓口の周知をチラシとホームページにて実施(市歯科医師会と連携)</p> <p>○成人歯科健診の受診者拡大のため歯科医師会へ市民がかかりつけを持つ割合や受診率、現在の取組を報告した</p> <p>○市内小中学校へ、市内の各学校で年度別、学校別で比較したむし歯有病率、むし歯治療率等を公開し、資料提供を行った。</p> <p>【高齢福祉課】</p> <p>○介護保険事業所を対象とし、要介護者と歯科医療機関との連携方法や歯科口腔保健に関する研修を実施。</p>	<p>○東入間地区在宅歯科医療支援窓口等の存在が必要とする人に知られていないため、より効果的な周知方法を考えていく。</p>
朝霞保健所	<p>○管内市町保健担当者、歯科医師、歯科衛生士、大学、企業、商工会職員等を対象に「成人歯科保健について」「歯科保健からの禁煙支援」をテーマに歯科口腔保健推進会議を実施(12月14日 35人)</p>	<p>○全ライフステージを通じた連携強化が困難</p> <p>○各ライフステージにおける歯科保健関係者の連携強化</p>	

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
その他	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○8020よい歯のコンクール</li> <li>・市内在住の80歳以上の者で、自身の歯が20本以上ある健康な者を募集し、朝霞地区歯科医師会において選考会を開催。入賞者については、市の健康まつりにおいて表彰を実施。</li> </ul>	
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【保健】</li> <li>○和光市8020よい歯のコンクール表彰式4名</li> <li>○各種歯科保健調査の実施</li> </ul>	
	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新座市休日歯科応急診療所</li> <li>・国民の休日に関する法律に規定する休日における市民の応急診療を確保するため、朝霞地区歯科医師会の協力により、救急医療の一環として運営した。(診療日数:19日、受診者数:77人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新座市休日歯科応急診療所</li> <li>・年末年始等の大型連休に患者が集中する傾向となっている。</li> <li>・患者数に関しても減少方向にある。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○8020よい歯のコンクール</li> <li>・市内在住の80歳以上の者で、自身の歯が20本以上ある健康な者を募集し、朝霞地区医師会において選考会を開催。入賞者については、市の健康まつりにおいて表彰を実施。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○6525運動</li> <li>・健康まつりの歯科相談コーナー来所者のうち、65歳以上で自身の歯が25本以上ある者に表彰状を贈呈した。また、同コーナー来所者全てに8020・6525運動に関するチラシを配布し、周知を図った。</li> </ul>	
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【保健センター】</li> <li>○健康づくり計画(歯科口腔保健計画含む)策定中</li> </ul>	

埼玉県地域保健医療計画第6次圏域別取組実績報告調書(その5)

重点取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	健康危機発生に備え、平常時から医療機関・検査機関・消防・警察・市など関係機関等と連携体制を強化するとともに、健康危機発生予防の普及啓発に努めます。また、健康危機発生時には、迅速かつ的確な情報収集、分析及び情報提供体制の充実を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機管理関係機関の連携体制の構築</li> <li>自主管理体制整備の推進</li> <li>健康危機管理情報の収集、分析及び提供体制の充実</li> </ul>
実施主体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、警察署、消防署、市町、保健所

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
健康危機管理関係機関の連携体制の構築	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇四市と医師会、歯科医師会、薬剤師会と災害時協定を締結し災害時の迅速な救護体制を構築</li> <li>〇各市の危機管理関係担当部署と災害関係講演会及び会合を実施</li> <li>〇衛星電話の他MCA無線による通信手段の導入を検討</li> </ul>	〇医師会、歯科医師会、薬剤師会と四市行政担当者との通信訓練の実施、各種防災訓練の参加
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇新型インフルエンザ等に関して</li> <li>・平成29年度埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練を実施(H29.11.7、11.10)</li> <li>・新型インフルエンザ等対策委員会の実施(H29.11.10)</li> <li>・新型インフルエンザ等対策業務継続計画の改定(H29.11)</li> </ul>	〇各部署において、担当職員が変更することもあるため、定期的に確認できる場を設けることで、共通認識の継続を図る。
	志木市	〇埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加(11月7日、連絡訓練のみ)	
	新座市(埼玉県)	〇新型インフルエンザ等対策訓練(連絡訓練)の実施【H29.11.7に実施】	〇連絡訓練以外の訓練を計画し、実施していく必要がある。
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加(11月7日、連絡訓練のみ)</li> <li>〇ふじみ野市業務継続計画(BCP)【新型インフルエンザ等編】の策定</li> </ul>	〇非常事態に対応できるよう、日常から危機管理としての備えをしておく必要がある。
自主管理体制整備の推進	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇ホームページ活用連絡網の整備及び訓練の実施を検討</li> <li>〇Facebook、FAXによる安否確認の実施</li> <li>〇災害時のトリアージ、検死等の講演会の開催</li> <li>〇各医療機関へのAED設置の促進及び更新の実施により心肺停止者の救命体制の促進を行う</li> </ul>	〇朝霞地区医師会四支部での安否確認、通信訓練の実施
	志木市	〇志木市新型インフルエンザ(強毒性)等流行時の業務継続計画の作成中	〇行動計画の内容、新型インフルエンザ対策マニュアルの実践化のため、県が作成する予定の対策マニュアルを参照の上、業務継続に向けた関係機関、実施業務内容、周辺環境等の洗い出し、分析を行う。
	新座市	〇保健センター内緊急連絡網を整備	
健康危機管理情報の収集、分析及び提供体制の充実	朝霞地区医師会	〇ホームページの活用、メーリングリスト等による緊急時における情報提供、連絡体制について、感染症予防対策協議会、情報広報委員会で検討を行っている。	
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇感染症の予防啓発</li> <li>・インフルエンザや感染症予防について、市民への啓発運動を実施</li> <li>・必要物品、消耗品の準備</li> <li>〇熱中症への予防啓発</li> <li>・熱中症について、市民への啓発活動を実施</li> <li>〇蚊媒介感染症対策</li> <li>・蚊媒介感染症について、市民への啓発活動及び関係部局との調整を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇市民に対して適切に情報提供を行う。</li> <li>〇必要物品等の予算確保</li> </ul>
	志木市	〇インフルエンザや感染症に関する情報を随時、ホームページや広報へ掲載している。	〇市民にタイムリーな正しい健康情報を提供していく。
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【保健】</li> <li>〇インフルエンザや感染症に関する情報を随時、ホームページや広報へ掲載している。</li> </ul>	【保健】 〇市民にタイムリーな正しい健康情報を提供していく。
	新座市	〇随時、インフルエンザや感染症等に関する情報をホームページや広報紙へ掲載している。また、公共施設にポスターやチラシを設置し、市民周知に努めている。	〇市民に向けて、タイムリーな情報を提供できるよう努める。
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇インフルエンザや感染症に関する情報を随時、ホームページや広報へ掲載している。</li> <li>〇随時、関係部署と情報交換を行っている。</li> </ul>	〇発生状況に合わせた情報提供に努める。
ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇インフルエンザや感染症などに関する情報をホームページや広報に掲載</li> <li>〇熱中症について、市民への啓発活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇市民に向けてタイムリーな正しい情報を提供するように努める。</li> <li>〇市民への注意喚の方法</li> </ul>	

主な取組	実施主体	29年度	
		取組内容・実績	課題・問題点
その他	和光市	【保健】 ○埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練(市町村連絡訓練)の実施(H29.11.7)	
	新座市	○災害時活動マニュアル(医療班編)を作成中	○いつ起こるか分からない災害に備え、できるだけ早い時期の策定を目指したいところである。
	富士見市	○埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加(H29.11.7) ○埼玉県新型インフルエンザ等対策行動計画に従い、業務継続計画の策定について検討した。	○業務継続計画の策定や、住民接種が円滑にできるよう、更に情報収集や関係機関と連携が必要である。
	埼玉県南西部消防本部	○「救急車適正利用推進ポスター用図画募集」を実施。管内の中学生・高校生及び朝霞地区医師会に所属する学校から募集し、応募255枚の中から最優秀賞の作品をポスターにして1,200枚作成し、公共施設に掲出した。	○高齢化社会を背景に救急要請が増加していることから、管内における救急業務を円滑にし、更なる救急需要に対応するため、救急車の適正な利用方法について普及啓発することが必要である。